



## レストハウス営業終了しました

旭山記念公園レストハウスも11月4日(日)をもって今年度の営業が終わりました。  
今年も多くの方にご利用いただき、ありがとうございました。来年の春は4月下旬にオープン予定です。  
なお、レストハウス前の清涼飲料水自動販売機は冬の間もご利用できます。

## 地鳴き：野鳥を鳴き声で知る

木々の葉が落ちた冬は野鳥の姿を見つけやすくなるため、野鳥観察にはいい時期です。

この冬は、姿だけではなく、声でも野鳥を探してみませんか？

野鳥には、きれいに歌うように鳴く「囀り(さえずり)」と、地味で普段出す声の「地鳴き(じなき)」があります  
が、今回は「地鳴き」に絞って話してゆきます(「囀り」はまた春にでも)。

★ここで人気者シマエナガに登場してもらいましょう

シマエナガは、群れで行動する際に主に3つの声を出します。

- ①「ツーツーツー」…甲高い声、3音連続で鳴くことが多い。  
→これに似た声はハシブトガラやヤマガラも出しますが、  
シマエナガは声が弱い感じがします。
- ②「ヒリリリリー」…笑い声のように聞こえます。
- ③「ジュルッ」…他に似た音を出す鳥がいないシマエナガ独特の声。



この声を覚えるとシマエナガは見つけやすいので、ぜひ覚えてください。

★旭山でよく見られる野鳥のよく聞く「地鳴き」ダイジェスト

- シジュウカラ:「ジュクジュクジュク」…これも他に似た声を出す鳥はいない独特の覚えやすい声です。
- ハシブトガラ:「チチョビー」…カラ類はどれも声が似てますが、ハシブトガラは「ビー」と入るのが特徴。
- ヤマガラ:「ツイーツイー」…鼻にかかったような甘い声で、「ニーニー」と表記されることもあります。
- ヒガラ:「チョッチー」…同じく針葉樹にいるクイタダキはもっと弱い声。
- ゴジュウカラ:「キュッキュッ」…連続的に鳴く声で、この声も他に似た音を出す鳥はいません。
- ツグミ:「キューイッキー」…木の上や飛んでいるときのこの声は上の方から聞こえてきます。
- マヒワ:「チューリーン」…特徴的な声、飛翔時に鳴いていることが多いです。
- シメ:「シー」「チェッ」…前者は静かな音、後者は舌打ちするような鋭い音です。
- ウソ:「フィーフィー」…口笛のような音です。
- カケス:「ジェーイツ」…賑やかな声です。
- アカゲラ:「キョッ キョッ」…何かに驚いたような？ 森の中で響く声です。
- コゲラ:「キューイッ」「ギッグギッ」…どちらも旭山ではよく聞かれる声です。
- ヤマゲラ:「ケッケッケッ」…わめくような大声は遠くからでもよく聞こえます。
- クマゲラ:「プルプルプル」…飛びながら出すこの声、クマゲラ接近中です。
- ハシブトガラス:「カーカー」 ●ハシボソガラス:「ガーガー」

※しかし…カタカナで書かれても分からない！ 今鳴いていたのは？  
という方はぜひ、森の家までお訪ねください。

野鳥の声を聞くことができる資料で確認することができます。



ハシブトガラは何と鳴く？

## 11月の「野鳥観察会」と「ネイチャーカフェ」11月23日

- 「旭山野鳥観察会」毎月第2土曜日開催、今月は11月10日(土)、来月は12月8日(土)です。  
・8時開始、参加費100円(保険代として)、双眼鏡無料貸出します。
- ネイチャーカフェ 第2回「今度こそ！ 野鳥の声に強くなる その1:留鳥・冬鳥編」11月23日(金・祝)  
「ネイチャーカフェ」野鳥の声特集は来年3月までの3回シリーズですが、初回の11月は「留鳥・冬鳥編」。  
森の家スタッフの皆川が、野鳥の声の聞き分けポイントなどを、声の録音を交えながら話します。  
・13時30分開始 参加費600円(お菓子付き) ※参加ご希望の方は事前お申し込みをお願いします

## 2018年秋 旭山の紅葉は

旭山記念公園の紅葉、今年は紅葉するヤマモミジとハウチワカエデはきれいに色づいた印象ですが、紅くなるのが例年より1週間ほど早く、しかも遅くまで残っていたように感じられます。

一方で黄色く色づくイタヤカエデやシラカンバは始まりが遅く、その上シラカンバはあまりきれいに黄色くならないうちに散ってしまいました。

また今年は、早かった紅葉とまだ緑の葉の取り合わせや、紅い葉のグラデーションが楽しめました。

旭山記念公園、今年の秋の紅葉を写真でダイジェストしました。



いちばん左は、第1駐車場入口付近の丘にある、旭山でいちばんきれいに色づくヤマモミジの木 10/28撮影  
右は、第1駐車場から森の家に向かう道、最盛期には紅葉のトンネルのようになる 10/25撮影

## 11月の野鳥トピックス

野鳥についての詳しい情報はホームページの野鳥情報をご覧ください。森の家までおたずねください。

★ルリビタキ＝10月19日に亜成鳥雄1羽が旭山に現れましたが、翌日以降は観察情報がありません。ルリビタキは11月中の記録もあり、まだ観察できる可能性があります。

★ヒレンジャク＝10月26日今年初めて旭山で確認しました。例年ですと1月上旬まで見られます。

★クイタダキ＝10月下旬から観察情報が増え、観察機会は比較的多いです。

★ツグミ＝11月2日今年初めて旭山で確認しましたが、その後は少なく、まだ移動の途中のようです。

★カケス(亜種ミヤマカケス)＝10月中の観察情報はありませんでした。

★クマゲラ＝このところ森の家の周りで声や姿が観察されることが多くなりました。

★オオアカゲラ＝10月は森の家近くで毎日のように雌の個体が見られました。

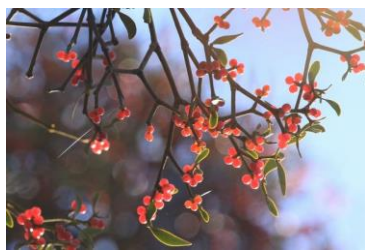
★シマエナガ＝広範囲を周っており、森の家周辺から双子沢川周辺はもちろん、第1駐車場から噴水広場にかけての辺りでも見られる機会が増えてきました。

※森の家では今年も「シマエナガ出没マップ」を毎週更新し、掲示してゆきます。



ホオジロ今年は10月末までいました

## 旭山ネイチャーフォトミニギャラリー 2018年11月 木の実特集



■アズキナシの実が今年は豊作

■アカミノヤドリギ、レンジャクは？

■イチイの実はやマガラの大好物

■ホオノキの実を食べるハシブトガラス

### 編集 後記

今年はナナカマドの実が少ない、というよりほぼゼロです。  
樹木の実には年により豊凶がありますが、今年の凶はナナカマドでした。  
ナナカマドの実には真冬に鳥たちが食料としていますが、ないとなると  
真冬の鳥たちの動きに影響が出るかもしれない、要注目です。



公式サイト

「アカゲラ通信」 第57号 2018(平成30)年11月9日発行

発行：(公財) 札幌市公園緑化協会 旭山記念公園管理事務所

住所：〒064-0943 北海道札幌市中央区界川4丁目

連絡先：電話 011-200-0311(土・日・祝日10時～16時) FAX 011-200-0351

<http://www.sapporo-park.or.jp/asahiya/>